

# 教育研究全国大会を成功に導く

## ～そのために会員全員の力を結集させよう～



山口県教職員団体連合会  
第31代委員長  
島村 暢之

山口県教職員団体連合会会員及び再任用会員、準会員、そして県教連の活動に御賛同いただいている賛助会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。この度、会員の皆様のご信任を賜り、第31代県教連委員長の大役を仰せつかることになりました島村暢之です。設立以来半世紀を越える歴史を重ねてきた教職員団体の長という任に就くにあたり、その責任の重さを実感しながら4月より職務に邁進しているところであります。

### 「教育研究全国大会に向けて」

今年度の県教連最大の行事は、教育研究全国大会(山口大会)【主催…全日本教職員連盟】であり、県教連が主管を務めます。さて、昨年度の栃木大会の折にお話しさせていただいた各県の参加者の方々から「来年は山口県ですね。県教連の団結力を生かしてみたいです。」や「前回の山口大会にも参加させてください。」等の励ましや期待の言葉をいただきました。これらの言葉を受け、どのようにすれば各県の参加者の方々の期待に応えることができるのかを考えてきました。そして、至った答えは、「会員全員が山口大会を成功に導く」という目的を共有することが必要です。目的がブレなければ、活動が様々でも必ず達成に繋がります。この目的を共有し、事務局を含めた会員全員で活動していきましょう。しかし、どんな活動をするべきか、例えは、参加者となり研修に励み、他県の仲間と交流する。或いは、役員として運営に携わる。御都合が悪く参加できない方は、是非未加入の方に、教研全国大会のことを話してください。このような御自分に可能なことをしていただくだけで構わないのです。教研全国大会を山口県で開催できるのは、6年に1度です。事務局も県下各地を巡り、



発行  
山口県教職員団体連合会  
代表者 島村 暢之  
編集人 田中 元晴  
山口市大手町教育会館内  
電話 (083) 922-2049番  
FAX (083) 921-0907番  
E-mail:  
kyoren@orange.ocn.ne.jp  
ホームページ  
http://www.kenkyouren.com



情熱・英知・団結

情宣活動に力を入れていきます。大会までの3ヶ月、会員全員で山口大会を成功に導く」という目的を共有し、事務局を含めた会員全員の力を結集して、盛り上げていきましょう。

### 「子供たちにとって真によりよい山口県教育を創るために」

幼稚園・小学校・中学校の次期学習指導要領が平成29年3月31日に告示されました。これにより、幼稚園においては平成30年度から、小学校においては平成32年度から、中学校においては平成33年度からの施行が確定しました。総則では、「幼児期の終わりまでに育つてほしい姿」や「主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善」や「教科等横断的な視点に立つた資質・能力の育成を図る教育課程の編成」、「道徳科を要とした道徳教育の推進」等が述べられ、完全実施に向けそれぞれの発達段階における教育の形が示されています。今後、告示されたこの学習指導要領を受け、幼小の円滑な連携、道徳科や小学校に新設される英語科等の推進、実施にかかる施策が現場に下りてくるものと予想されます。しかしながら、現場は、学力向上やいじめ・不登校への対応、コミュニケーション・スクールの推進や家庭との細やかな連携等を求められ、既にぎりぎりない状態の中で子供と向き合う時間確保もままならない現状があります。このような現状がある中下りてくる施策が、子供たちと向き合う時間を教職員から更に奪うものにならないように、真に子供たちのためになるものとするために、県教連は全力を挙げて活動します。

### 【最後に】

県教連が抱えている最大の課題は、組織の拡大です。文科科学省のデータによると、山口県の約70%の教職員は、どの教職員団体に所属していません。そして、未加入者の数は、今後更に増えていくのではないかと懸念されます。これがどれだけ危惧すべきなのかを想像し、未加入者に声をかけることができるのは、県教連の会員の皆様しかありません。事務局も組織を拡大するために様々な方法を模索し、実践していきます。組織の拡大に向け、今後とも会員の皆様方の御支援、御協力をお願いいたします。

## 浅原県教育長との懇談

4月28日、県庁において、浅原県教育長と懇談を行いました。今年度の県教連の事業について説明するとともに、山口県の教育行政についても、意見を交わしました。

今年度特に力を入れている事業として、教育研究全国大会(山口大会)を紹介し、分科会や記念講演等の内容について、資料をもとに説明しました。浅原教育長は、教育に関わる大会が山口県で開催されることに大きな関心を示されました。また、第6回親守詩山口大会の主旨説明をしたところ、「たいへん意義のある大会である。」との言葉がありました。

懇談の中で、「今年こそ、県教委に主幹教諭・指導教諭の導入を具体的に検討していただきたい。全国的に見ても、ほとんどの都道府県が導入している。山口県においても、学力向上推進教員や地域コーディネーターとして、現場ですでに指導教諭的な立場で職務を遂行している方が多い。そこを一步進めて考えていただきたい。」と伝えたとこ、導入にはどのような条件が整えばよいのか等、検討していきたいとの話がありました。

主権者教育についても、「県教連も正しい主権者教育が学校現場で実行されるように、現場の声を県教委に届けていきたい。」と伝えました。浅原教育長からは、「主権者教育推進の手引」を作成し、高校生議会等の取組を行うことに、そして今年には義務制にも体験の場として県議会を開放したいとの話がありました。

浅原教育長は、県教連の活動に対して理解を示すとともに、今後山口県の教育行政に対し、様々な場面で県教連から提言を



島村委員長の話に耳を傾ける浅原教育長

### 事務局紹介



本年度もよろしく  
お願いいたします